

どろみず 泥水を

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

きれいにする方法



きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。

日本は水にとってもめぐまれている。

でも地震や台風などの災害が多くて、水道水が使えなくなることもある。

そんなときに使える水をつくる方法はないだろうか？

じっけん 実験のやり方

つけたものや、しらべるやり方
を書こう。絵やしゃしんもつこうと
わかりやすいぞ。



底を切りはなしたペットボトルをさかさにして、キャップ部分に脱脂綿をつめてガーゼでふたをして、小石・砂利・活性炭・砂・ガーゼの順につめてろ過器をつくる。

上部を切りはなしたペットボトルの上において、上から泥水をそそぐ。

よそう 予想

しらべる前に、けっかを予想して書く。
予想した理由も書こう。

よごれはうすくなるけど、水道水とくらべるとちょっとにごっていると思う。

ねん ぐみ なまえ
年 組 名前 ()

なまえをわすれずに書こう。

じっけんのけっかだけを書く。
表やグラフ、しゃしんをつかうとわかりやすいぞ。

けっか 結果

ろ過された水がぼたぼたと落ちてきて、
見た目には水道水と変わらないくらい、
きれいな水ができた。



左から泥水、ろ過された水、水道水

わかったこと

けっかからわかったこと、かんがえたことを書く。
予想とちがったときは、どうしてそうなったのか
かんがえてみよう。

泥水からガーゼの網目を通れない大きな物が取りのぞかれ、
次の砂の層ではさらに小さな物も取りのぞかれた。

砂だけでもかなり透明な水になったように見えたが、それが活性炭の層を通過して、
さらに透明感を増した。ろ過された水は水道水と変わらないように見えた。

まとめ

けっかとわかったことをまとめて、
つぎにしらべてみたいことを書こう。

ろ過できれいな水ができたけど、目に見えない微生物や化学物質がまざっているかもしれないので飲むことはできなかった。

調べてみると、この方法だけで飲み水にしている国や、きれいな飲み水がない国さえあるらしい。安心して水道水が飲めるのは特別なことだとわかった。

日本でも災害が起きたり日照りが続いたりして水不足になることがあるかもしれない。日ごろからもっと水を節約して大切に使おうと思った。